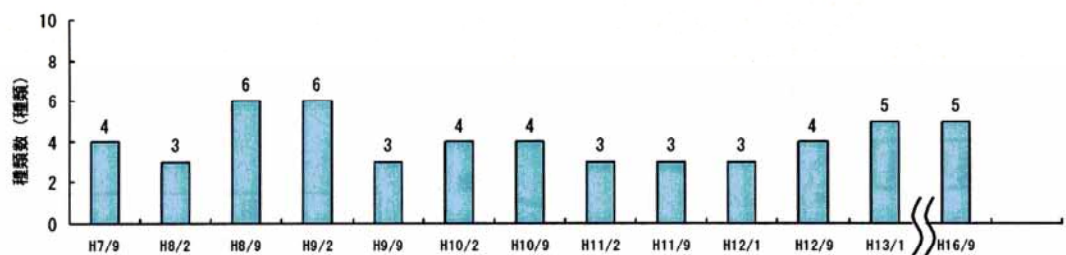


- 貝類

- - 貝類

- - - 1 河口域の貝類について

長良川河口堰の運用に伴い河口域の貝類の生息状況がどのように変化するかを把握するために種類数の調査が行われています。種類数については、調査年度によって変動は見られるものの、季節的、経年的な変化傾向は見られませんでした。



注) 河口域の調査地点である-1.6km 地点のデータを代表地点として示しています。

河口域における貝類の確認種数の経年変化

中部地方ダム等管理フォローアップ委員会（堰部会） 平成16年度定期報告書P6-3-3-1-2

S2(-1.6km)より

- - ヤマトシジミ

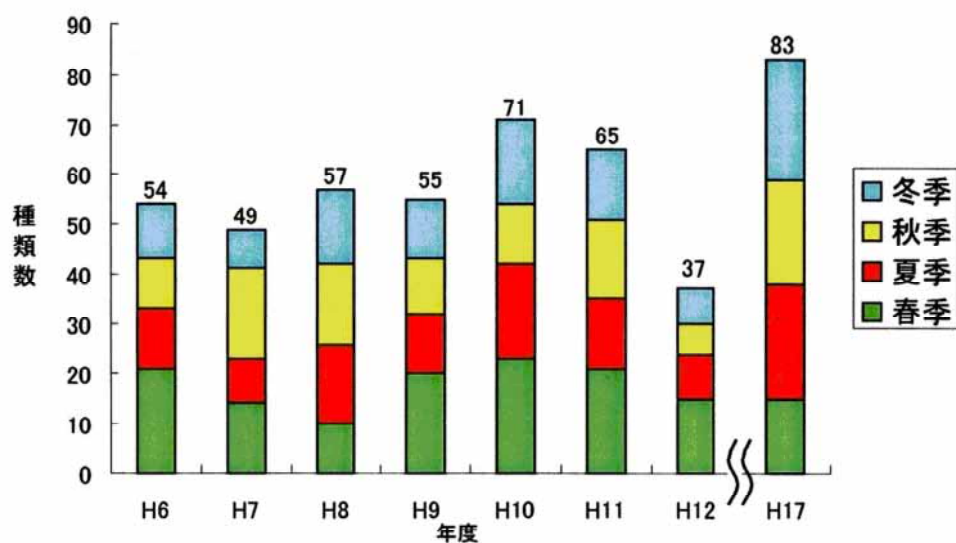
- - 参照

## - 鳥類

### - - 鳥類

#### - - - 1 鳥類（河川敷鳥類、河川水鳥）について

長良川の河口域から約40kmの間に生息する鳥類の種類数について調査が行われています。種類数については、調査年度によって変動は見られるものの特に一定の傾向は見られませんでした。



注) 堰直上流の調査地点である9.0km地点のデータを代表地点として示しています。

#### 堰上流域における鳥類の確認種数の経年変化

H6～12：中部地方ダム等管理フォローアップ委員会（堰部会）平成16年度定期報告書P6-3-2-6-4

N2(9.0km)より

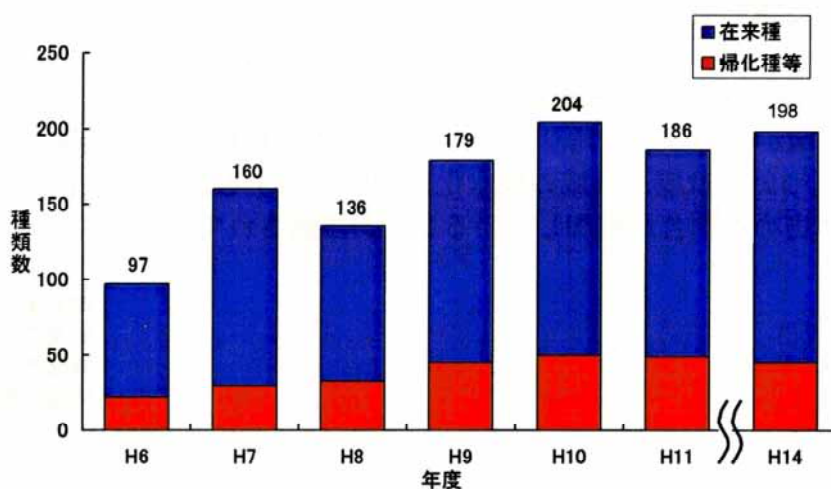
H17：中部地方ダム等管理フォローアップ 平成17年次報告書P4-41 N2(9.0km)より

- 植物

- - 植物

- - - 1 植物（河岸沿いに生息する植物（ヨシ、ヤナギなど））について

長良川河口堰から約39kmの間に生育する植物の種類数について調査が行われています。種類数については、各調査区域とも平成10年までは概ね増加傾向でしたが、高水敷上の植生の変化が進んだことにより、平成11年と平成14年ではほぼ横ばいとなっています。また、在来種と帰化種の比率についても大きな変化は見られませんでした。



注) 堰直上流の調査地点である12.6km地点のデータを代表地点として示しています。

堰上流域における植物の確認種数の経年変化

中部地方ダム等管理フォローアップ委員会（堰部会）平成16年度定期報告書P6-3-2-5-4

N4(12.6km)より

## - - -2 ヨシ原やヤナギなどの自然環境の復元や保全対策について

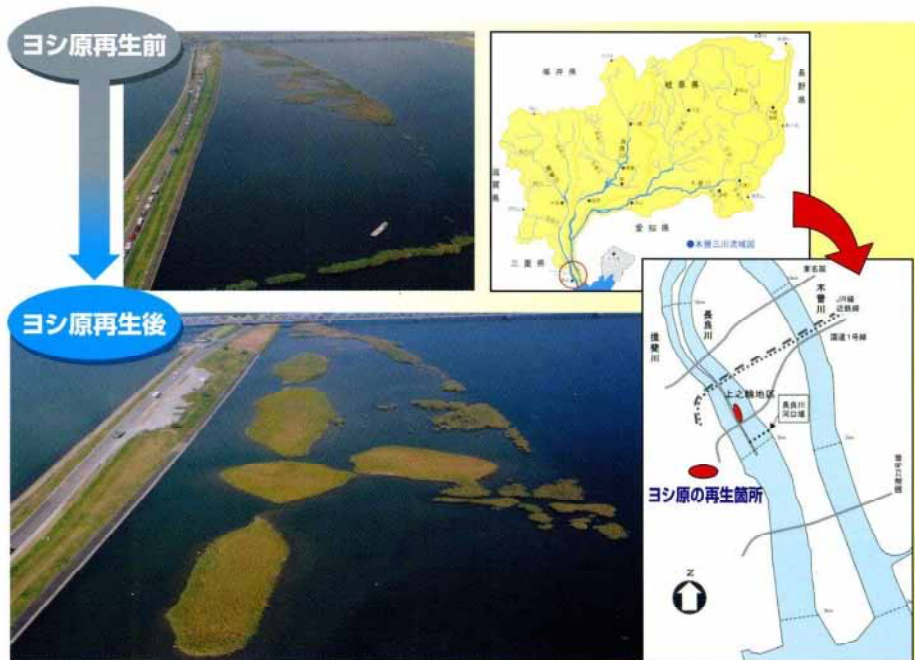
ヨシ原やヤナギなどの復元・保全対策として、ヤナギの植栽やヨシについては護岸前面にヨシ原を復元したり、生育地盤の低いところについて浚渫土を利用した生育地盤の嵩上げなどにより復元が図られています。

### ヨシ原を再生しています

治水上問題のないことを確認しつつ、ヨシ根を混入させた土砂を河川へ入れてヨシ原を再生しています。

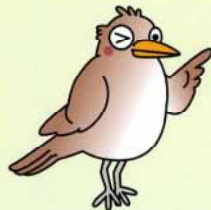
#### ヨシ原再生の目的

1. 小さな生き物が生活・繁殖できる場所を作ります。
2. ヨシやヨシ原に生息する生き物が水をきれいにします
3. ヨシ原を中心とした河川の景観を復元します。



#### ヨシ原の作り方

- ★ 同じ川のヨシ根と土を混ぜたものを治水上問題のない範囲で川に入れます。
- ★ ヨシ山が流れなどで崩れないように、周りを大型の土袋で保護します。
- ★ 沿川の住民の方々と協力して作っていきます。



他の工事で掘削したヨシ根土を盛土し、ヨシ山が流れなどで崩れないように周りを大型土のう等で保護します。



# ヨシ原に帰ってくる生き物

ヨシ原は、小さな生物の生息・繁殖の場所として重要な役割を担っています。アシハラガニ、カヤネズミ、オオヨシキリなどヨシ原を好む生物が帰ってくるのが期待されます。

## オオヨシキリ

日本には夏の間渡ってきて、全国で繁殖する鳥。主に河岸などのヨシ原に生息する。ヨシ原に巣を作り、その中で産卵・子育てを行う。



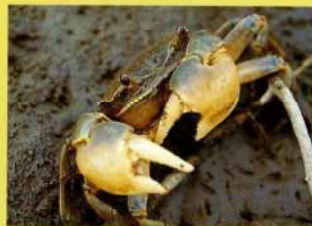
## カヤネズミ

ヨシなどの植物が優占する草地に生息する5cm程度の小さなネズミ。植物の葉で巣を作り、その中で子供を産み育てる。ヨシ原などの減少によって全国的に生息数の減少が危ぶまれている。



## アシハラガニ

河口の上部に生息するカニ。ヨシ原の根元に巣穴を掘り生活している。干潮時には群れをなして餌をとる。人間が近づくとガサガサ音をたてて、ヨシ原に逃げ込む。



## ヨシ

川や湖に群生する大きな多年性の草本で、日本の河川景観を代表する植物。

群生する場所はヨシ原と呼ばれ、他の生物の生息・繁殖の場として重要な役割を果たす。また、ヨシ自身による水をきれいにする力も大きいことが知られている。

### —コラム— ヨシが水をきれいにする力 —

ヨシが水をきれいにする力は次のような様々な作用によって成り立っています。

- ①ヨシが川に生えることによって流れが緩やかになり濁りの成分となる細かい土砂が沈みます。
- ②ヨシの根や茎、さらに葉の表面に付着した細菌が川を流れてくる有機物を吸収します。
- ③茎から根へ酸素を運ぶことによって、根の部分で脱窒作用が起こりやすくなり、川を流れてくる有機物はガスに変わり空気中へ抜けていきます。

※脱窒作用……窒素に酸素が触れることによってガスに変わる作用

